

令和6年度における自主(連合)防災隊等の防災活動紹介

No.	取組主体	内容	時期	頁
1	豊沢自主連合防災隊	自主連合会の防災体制について	通年	2
2	川井自主連合防災隊 下山梨自主連合防災隊 未来createClub	中学生と創る防災訓練【災害時の備えについて考える】	地域防災訓練	3
3	袋井西自主連合防災隊 方丈自主連合防災隊 袋井西地区まちづくり協議会	①防災の集い開催について【自助について考える】 ②方丈地区防災マニュアルの作成	①8月 ②通年	4
4	袋井北自主連合防災隊 袋井北地区まちづくり協議会	ワークショップの開催について	通年	5
5	袋井東自主連合防災隊	「命を守る防災隊」の活動紹介	通年	6
6	上山梨自主連合防災隊	自主連合防災隊で考える防災対応（南海トラフ地震＋台風）	8月	7
7	泉町自主防災隊	大規模地震発生に備えた勉強会の開催について	地域防災訓練	8
8	新屋自主防災隊	自主防災隊マニュアルの作成について	通年	9
9	延久自主防災隊	延久版安否確認について	地域防災訓練	10



市のHPからでも活動を見ることができます！
詳しくは、QRコードを読み取ってね！



QRコード

豊沢自主連合防災隊の取組み

○豊沢連合防災隊の設立(組織化)について

豊沢地区では、災害発生時における初動対応や避難所の運営体制について明確な取り決めなどがなかったことを地域の課題として取り上げ、有事の際に迅速に対応できる「豊沢連合防災隊」の設立について協議を重ねています。

連合防災隊の役割及び業務内容（避難所の開設から初動期の運営まで）

- 連合防災隊の参集（原則、震度4以上の地震が発生した場合）
 - 自主防災隊の役員と同様に、各自治会の自主防災隊本部(公会堂等)に参集します。
⇒ 自主防災隊本部の開設準備に参加協力するとともに、豊沢愛野支部の開設状況を無線連絡等で確認しながら待機する。
⇒ 自主防災隊本部に、指定避難所に開設準備に向かう旨の方向のうえ、指定避難所に参集する。
⇒ 市豊沢愛野支部に到着を報告し、市避難所担当者と協力して開設準備を行う。
- 連合防災隊の役割(避難所の開設準備(初動期の班編成を速やかに編成します。))
 - 班編成に基づく体制の確認(参集した人数に応じて対応する。)
⇒ 班編成(開設当初の最低必要な班編成で準備を進める。)

【豊沢愛野支部:指定避難所の班編成(案)】

○総務班(●本部) (連絡・広報班)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営全体の統括 ・市対策本部及び市豊沢愛野支部との連携 ・支部内の指定避難所全体の連携及び統括(袋井南中学校の避難所)
○名簿係(受付) (ボランティア班)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所内の基本スペース(レイアウト図参考)を割り振る。 ※要配慮者については、原則別スペースに割り振る。 ・避難所運営委員会設置に向けて準備し、当該指定避難所の本部として運営全体を統括する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・避難者名簿の作成(※自主防台帳使用も要検討) ・避難者数の確認(食料・物資の追加などにも確実な把握が必要) ・避難者情報の掲示(各自治会ごとの状況などを周知する。)

連合防災隊の役割等について検討資料

ポイント

- ・指定避難所の班編成を検討
- ・避難所開設のチェックリストを作成

ポイント



発災時の避難所運営は、「地域住民自身が行わなければならない」という課題を地域で考え行動した点が素晴らしいです！

川井自主連合防災隊 下山梨自主連合防災隊 未来createClub

の取組み



○地震への「備え」の大切さについて

能登半島への災害発生ボランティアへ参加した中学生（未来createClub）達が自らの経験を活かし「防災バック」の大切さや「簡易トイレ」の備えの重要性を啓発しました。地域防災訓練では、未来createClubの考えに賛同した川井自主連合防災と下山梨自主連合防災隊がそれぞれ、中学生と合同で訓練を実施し、日頃からの備えの大切さについて呼びかけを行いました。

中学生が作成した啓発チラシ



簡易トイレの説明を行う中学生

① 自分や家庭に合った防災バックを用意しよう

【一般的な非常持ち出し品】

便利グッズ

- ・懐中電灯・笛やブザー
- ・万能ナイフ・紙皿
- ・割りばし・プラコップ
- ・雨具・給水バッグ
- ・ブランケット等



貴重品

- ・現金・通帳
- ・車や家の予備鍵等

衛生用品

- ・歯ブラシ・綿棒
- ・タオル・マスク等

【自分や家庭に合った持ち出し品】

高齢者世帯の例

《常備薬》

持病に備える



《とろみ食》

食べやすく、誤飲を防ぐ



乳幼児のいる家庭の例

《粉ミルク・離乳食》

乳児の栄養補給ができる



《哺乳瓶》

乳児の栄養補給に使用できる



ポイント



「自分たちにもできることがある」と行動した中学生と、その想いに賛同した地域でとても実りのある訓練に取り組みました！

袋井西自主連合防災隊 方丈自主連合防災隊 袋井西まちづくり協議会



の取組み

○「防災の集い」の開催について

袋井西地区では、自助の大切さについて考える機会として防災の集いを実施しました。

防災の集いチラシ
※講演や展示を実施

防災の集い

能登半島地震から半年、南海トラフ地震が心配されます。あなたとあなたのご家族の命を守るには、「自助」です。事前の準備が大事です。

自助、何をしたらよいでしょうか？あなたの防災力を高める絶好のチャンスです。どうぞ、お友達や自治会の役員さんと誘い合って、御参加ください。参加は無料。お気軽にお出掛けください。(事前予約不要)

日時 令和6年8月18日(日) 13:00~16:00

場所 袋井西コミュニティーセンター

主催 袋井西地区まちづくり協議会



○マニュアルの作成について

災害発生に備え「災害対策マニュアル」の整備を行いました。

5 避難所運営委員会の活動について

(1) 避難所運営委員会の組織 方丈地区避難所運営委員会

担当班	(所属) 氏名	◎印: 代表
①統括責任者	◎連合防災隊長 ○連合防災副隊長	
②名簿班	◎(連合会書記) (連合会会計) ※連合防災副隊長の指示で袋井支部への移動指示	
③総務班	◎(西防災隊長) (西防災委員)	
④伝令・情報班	◎(東防災隊長) (東防災委員)	
⑤救護班	◎(南防災隊長) (南防災委員)	
⑥食糧物資班	◎(北防災隊長) (北防災委員)	
⑦保健衛生班	◎(中防災隊長) (中防災委員)	
⑧要配慮者班	◎(民生児童委員)代表者 (民生児童委員)	
⑨女性衛生班	(人権擁護委員)	

(2) 避難所運営会議の開催

避難者の誘導など応急的な対応が落ち着いた段階で、避難所運営委員会の委員が、避難所の運営にあたる。(運営委員会の一覧表参照)
話し合われる内容は、状況把握・避難所支援の確認・解決すべき課題の共有と対応(日に2回朝と夕開催)

方丈地区
マニュアル

ポイント



イベントを通じた自助の強化に加え、マニュアル作成など共助の強化を図れたことが素晴らしいと思います！

袋井北自主連合防災隊 袋井北地区まちづくり協議会の取組み



○防災ワークショップの開催

袋井北地区では、災害は必ず発生するものとして捉え、災害に備えたワークショップを年間を通して実施しました。

ワークショップ内では、現状の把握、災害への対策の検討、防災訓練での実践などを協議しました。

袋井北支部防災計画

ワークショップの様子

令和6年度の取組スケジュール(袋井北支部)

4月20日(土)	9:00-12:00	自主(連合)防災隊長会議 (市役所東分庁舎:コスモス館)
6月	19:00-20:30	第1回袋井北・北四町 地域防災対策会議 (袋井北コミュニティセンター)
5月	未定	災害対策管理表ワークショップ(1回目) (袋井北コミュニティセンター)
6月	未定	災害対策管理表ワークショップ(2回目) (袋井北コミュニティセンター)
7月	未定	災害対策管理表ワークショップ(3回目) (袋井北コミュニティセンター)
7月6日(土)	9:30-11:30	総合防災訓練説明会 (市役所東分庁舎:コスモス館)
8月	19:00-20:30	第2回袋井北・北四町 地域防災対策会議 (袋井北コミュニティセンター)

袋井北地区防災ワークショップの様子



ポイント



災害について他人事ではなく自分事として地域で考動している素晴らしい取り組みです！

袋井東(一・二)自主連合防災隊の取組み

○モデル自治会による防災体制の見直し

袋井東地区では、自助・共助の強化を目的に「いのちを守る防災隊」を組織しています。令和6年度には、モデル自治会を設定し、一次避難所（公会堂）の設営・運営の検討や防災組織の見直しを図りました。

見直しを行った防災体制については、好事例として東地区11地区へ横展開を図る予定でいます。

避難所レイアウトの検討

防災体制の 見直し案

＜モデル自治会＞名栗北原川防災体制 案 R7.3.2

打ち合わせ会議日時 R7.3.16(日)13:00 <名北公会堂>

出席者 いのちの防災隊→山本代表・多田避難所運営G長・足立自治会連携G長・大村女性防災G長
名北自治会→鳥居自治会長・三浦副自治会長
R6/R7 名北自主防災隊長(西郷・)

趣旨 ・名北自治会をモデル自治会として、平時と有事に即応する新たな防災体制を構築する
・名北自治会の好事例を東地区11自治会に伝播する

防災体制のポイント

- ①班単位をベースとした安否確認システムの構築
- ②公会堂を一次避難所として設営、運営する体制の構築(マニュアルの作成)
- ③女性防災体制の構築→防災隊員に女性の参加・避難所運営に女性の参加、女性専用倉庫と日用備蓄品の確保
- ④現行の自主防災隊組織の見直し
→自治会役員・現行自主防災隊員・女性・シニア防災隊員・有志・技能者の参加など総力体制の構築

自治会の概要 <R6.5月防災訓練用実在数調査他より>
全住民数…377人(内77才以上60人→男19人・女41人 幼児・小学生35人)
全世帯数…110世帯

新防災体制



地域が一体となって課題を考え、共有・改善・展開を図ることは非常に大切なことです！



上山梨自主連合防災隊の取組み

○南海トラフ地震臨時情報及び台風10号の対応の振り返り

上山梨地区では、運用後、初めて発表された「南海トラフ地震臨時情報」への対応や、進度が著しく遅い「台風10号」など、立て続けに発生した今まで直面した事のないケースについての対応の振り返りなどを行い、管内の自主防災隊における活動状況などについて共有化を行いました。

令和6年8月 台風10号についての自主防災隊長・防災隊の対応及び南海トラフ地震臨時情報の対応（報告）

上山梨自主連合防災隊（自主防災隊長）

振り返り資料
（一部抜粋）

台風10号の対応					南海トラフ地震臨時情報の対応 (意見・疑問)	
自治会名	防災隊長名	8月29日(木)	8月30日(金)	8月31日(土)	9月1日(日)	
上町		<ul style="list-style-type: none"> ・連合より、要支援者の避難、必要かの確認依頼あり。 ・支援隊長に連絡し、結果を連合防災隊に無線連絡した。 ・自主防災隊（上町）で各班に訓練中止の連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災隊役員にて連絡網及び参集基準の協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、協議する。 ・参集基準、安否確認を明文化し、町民に周知、意見を求める。 		
中町		<ul style="list-style-type: none"> ・台風10号接近に伴い袋井市より避難所開設のしらせがある。 ・自宅にて無線スイッチを入れて待機。連合防災隊より連絡を受け、要支援者への避難確認をしたところ自宅待機とのこと。その旨を報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所開設に伴い、中町自治会でも公会堂を会場。役員とともに待機。 ・小雨時に役員数名で町内見回りをして、道路、家屋への冠水等見られず夕方解散。 ・9月1日防災訓練中止の配信を受け、班長を中心に全戸にしらせを配布。無線を持って自宅待機 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会役員とともに、中町公会堂開場。特に避難者は無く待機。 ・小雨時に役員数名で町内見回りをして、道路の冠水等見られず、夕方には解散。無線を持って自宅待機 	<ul style="list-style-type: none"> ・午後より避難所の閉鎖のしらせがあり自宅待機となる。 ・メローねつによる情報で台風接近による大雨で市内でも災害があった地区があり、昔はこんな雨量はなかったかと思っいても、ゲリラ豪雨とかニュースで流れているので、他人事は考えてはいけない。 ・被害が出てからでは遅く、正しい情報を聞いて早めに自治会 	<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ地震臨時情報発表を受けて、スーパーでの飲料水やお米、カップ麺やティッシュペーパーの買い占めが起こり、商品不足になっているとニュースで見たが、地震の備えは大切であるが、発表されて慌てて買い占めるといのはどうだろうか。 ・普段からの備えが一番大事だと思う。とは言っても飲料水は何日分、食料は何日分×家族の人数となかなかその量を保存しておけるものではなく、避難所に頼ることになる。空襲が例であれば缶詰も取り出

ポイント



上山梨自主連合防災隊では、今まで体験したことない災害などの対応について地域が自ら考え検討しました。

泉町自主防災隊の取組み

○大地震に備えた勉強会の実施について

南海トラフ地震などの大地震が発生した際に、生じる液状化現象について学ぶとともに、災害への脅威にどの様に立ち向かうかを地域防災訓練時に住民が考えました。

液状化の被害について住民で共有

液状化による被害

液状化による被害は次のようなものが考えられます。

現象	被害
<p>① 地中の水圧が高まり地表に水や砂が噴出し、地面が沈下・陥没する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 噴き出す砂・沈下・陥没が激しいと通行に支障がでる ● 側溝などに砂が流れ込み排水できなくなる ● 沈下が大きいと雨による床下・床上浸水が生じる ● 敷地と道路の高さが変化し排水の勾配が逆になると排水できなくなる 
<p>② 地盤の支える力が低下したり無くなったりする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地盤に支えられていた建物や地面に置かれていた重いものが沈下する。沈下が一樣でないことが多く、建物が傾き居住性が損なわれ健康にも影響がでる ● 塀や重い設備機器などが傾く ● 地中に埋められている水道管は破損して使えなくなる 

家具はガッチリ固定！

補助制度を利用してラクラクお得に家具固定できます

▲家の中の重い・背の高い家具、しっかり固定していますか？
地震が起きたとき、身の回りにある家具は凶器となって、住む人に襲いかかってきます。自らから家内の安全対策として、家具はできるだけ釘・床・天井に固定してあり、地震に強い家具の配置をしましょう。

危険！ 安心だね

袋井市指定家庭内家具転倒防止器具の例
L字型家具 前後レール 泡盛用固定器具

袋井市の転倒防止器具の取付支援の概要

①器具の給付	②器具の取付
<ul style="list-style-type: none"> ✓袋井市の指定する転倒防止器具の中から、1台につき6台分までを無料給付します。 ✓1台当たりの器具代として市が2,000円を負担 詳細はHPをご覧ください 	<ul style="list-style-type: none"> ✓自力での取付ができないなどご希望の方は、市の委託した大工さんをご自宅に派遣します。 ✓次の条件にあてはまる場合は、最大6台分まで市が全額負担 <ul style="list-style-type: none"> - 満65歳以上の単身世帯 - 次の認定・申請を保持する者が属する世帯 認定書又は紹介書・後援書等 転倒被害防止補助申請書・費用手帳 - 袋井市選定行動支援会計課（福祉計画）作成に同意又はその実施者であるとする旨の届出を提出

家庭内家具固定の補助制度に **TEL.0538-86-3701** 袋井市危機管理課災害対策係
（受付時間：月～金 9時～17時）
詳しくはHPをご覧ください

市の補助制度の周知
(チラシは家具固定)

ポイント



地域の課題について話をするだけでなく、課題に対しての対策方法を検討している点が素晴らしいです！

新屋自主防災隊の取組み

○新屋自主防災マニュアルの作成について

新屋自主防災隊では自主防災隊独自のマニュアルを作成しました。能登半島地震の教訓を踏まえ、市からも啓発をしている、備蓄の重要性やトイレの確保についても必要数を記載するなど細やかにマニュアル化しております。

新屋自主防災マニュアル



「自助 自分の命は自分で守る」
「共助 地域の助け合いで地域を守る」

令和7年度版

「自助 自分の命は自分で守る」

「災害に対する備え」

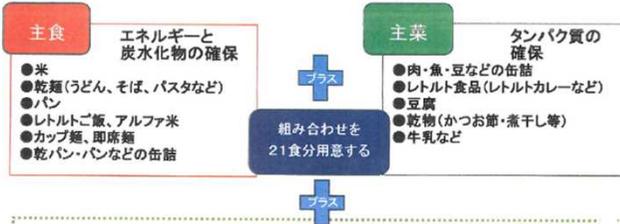
7日分の飲み物と食べ物を備蓄する

「南海トラフ巨大地震」では、道路に多くの被害が出たりして国や近隣県などからの支援が遅れることが想定される。飲料水や食料などの備蓄を、各家庭で「7日分」確保するよう推奨されている。

家庭の備蓄が重要(災害対策本部・新屋自主防災隊の備蓄には限界がある。)

備蓄の組み合わせ～7日分(大人1人分21食)を目指して

家族構成に合わせて必要な物を、必要な分量だけ用意する。



トイレが使えないと、その後に支障をきたす

大規模災害直後は浄化槽や下水道が使えなくなることが予想される。

各家庭でも携帯トイレや簡易トイレを備蓄する。

トイレの平均使用回数は1人1日5回

1週間では1人35回分が必要になる。

トイレ機能の悪化 ⇒ 飲まない・食べない

⇒ 体力・免疫力の低下

⇒ エコノミークラス症候群などの健康障害

携帯トイレの使い方

1. ポリ袋を便器にかぶせる
便器の中を清潔に保ち、トイレの臭いを防ぐ。
2. 便座の上から携帯トイレ設置
排泄物を直接受け取る。
3. 用を足す
4. 臭いが漏れないようにしっかり閉める
災害時のトイレの臭いは非常に危険!

新屋自主防災隊作成のマニュアル

ポイント



過去の大災害を踏まえ市からも啓発している内容を、見やすく分かりやすくマニュアル化しています。過去に作成したマニュアルの更新が大切な人の命を守ることに繋がるかもしれません！

延久自主防災隊の取組み

○延久版安否確認の実施について

延久自主防災隊では、安否確認の方法について見直しを図りました。防災訓練での市への安否確認方法について、延久自主防災隊で独自に考え防災訓練で実行しました。

<記入例>

※班長及び自主防災委員が保管

A班 安否状況集計用メモ

班内世帯 又は 自治会班	総人数 A	班内世帯又は自治会班の安否確認済み人員数					計	目の内 自力で避 難できな い人	目の内 外国人	不明者 A-B	ペナ ント 有	訓練参加 人数
		幼児	小学生	中学生	高校生	大人						
A	3人	人	人	人	人	3人	3人	人	人	人	○	1
B	5人	人	1人	1人	1人	2人	5人	人	人	人	○	2
C	2人	人	人	人	人	1人	1人	人	1人	人		1
D	3人	1人	人	人	人	2人	3人	人	人	人	○	1
E	3人	人	人	人	1人	2人	3人	人	人	人	○	1
F	3人	人	人	人	人	3人	3人	1人	人	人	○	1
G	2人	人	人	人	人	2人	2人	人	人	人		1
H	2人	人	人	人	人	2人	2人	人	2人	人	○	2
I	3人	人	人	人	人	3人	3人	人	人	人	○	1
J	2人	人	人	人	人	2人	2人	人	人	人	○	1
11	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		
12	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		
13	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		
14	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		
15	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		
16	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		
17	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		

延久版安否確認様式

ポイント

- ・市の様式を地区で活用しやすい様式へアレンジ
- ・安否確認用ペナント欄を追記

ポイント



安否確認の方法について地域で話し合い、様式を作成するだけでなく防災訓練で実行出来た点が非常に素晴らしいです！